

令和6・7年度入札参加資格審査申請要領（設計・測量・建設コンサルタント等）

令和6・7年度に豊川市が発注する設計・測量・建設コンサルタント等業務の指名（一般）競争入札に参加するには、入札参加についての資格審査が必要です。

資格審査を希望する方は、下記要領に基づき、あいち電子調達共同システム（CALS/EC）により、適正な入札参加資格審査申請を行ってください。

記

1 申請者の要件

資格審査を希望される方は、次の要件を満たしていることが必要です。

（1）あいち電子調達共同システム（CALS/EC）参加自治体に共通する要件

- ① 資格審査を希望する営業の種類について、建築設計を希望する方は建築士法（昭和25年法律第202号）第23条に基づく「建築士事務所」の、一般測量又は航空写真測量を希望する方は測量法（昭和24年法律第188号）第55条に基づく「測量業者」の、若しくは法令等による営業の登録を必要とする場合は、当該登録を受けていること。
- ② 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項（同令第167条の11第1項において準用する場合を含む。）に該当しない方。

地方自治法施行令（抜粋）

（一般競争入札の参加者の資格）

第167条の4 普通地方公共団体は、特別の理由がある場合を除くほか、一般競争入札に次の各号のいずれかに該当する者を参加させることができない。

- 一 当該入札に係る契約を締結する能力を有しない者
- 二 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- 三 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者

（指名競争入札の参加者の資格）

第167条の11 第167条の4の規定は、指名競争入札の参加者の資格についてこれを準用する。

- ③ 次に掲げる国税及び愛知県税が未納でない方（愛知県税については愛知県に納税義務がある方に限ります。）

ア 国税

法人の方：法人税、消費税及び地方消費税

個人の方：申告所得税及び復興特別所得税、消費税及び地方消費税

イ 愛知県税

法人の方：法人県民税、法人事業税（特別法人事業税・地方法人特別税を含む）及び自動車税種別割

個人の方：個人事業税及び自動車税種別割

（2）豊川市が独自に設定する要件

- ① 次に掲げる豊川市税等が未納でない方（豊川市に納税等の義務がある方に限ります。）

- ア 豊川市市税条例（昭和25年条例第14号）に規定する市税
 - イ 豊川市国民健康保険条例（昭和36年条例第1号）に規定する国民健康保険料
- ② 「豊川市が行う事務及び事業からの暴力団排除に関する合意書」（平成23年3月31日付け豊川市長・愛知県豊川警察署長締結）に基づく排除措置を受けていないこと。

2 電子申請の方法

- (1) 申請をする方は、あいち電子調達共同システム（CALS/EC）（以下「電子調達システム（CALS/EC）」という。）にアクセスし、画面上の申請書フォームに必要事項を入力し、送信してください。入力にあたっては、下記ポータルサイトに掲示されている、入札参加資格申請の操作手引書（以下「操作手引書」という）を参照してください。
ポータルサイト <https://www.chotatsu.e-aichi.jp/portal/index.jsp>
- (2) 電子申請は、支店等の有無にかかわらず、電子入札コアシステムに対応した民間認証局が発行する代表権のある者の名義のICカードで行ってください。
- (3) 豊川市と契約を締結する営業所については、本店（本社）以外に支店や営業所等を開設している場合でも、本店（本社）を含めてどこか1つの営業所で申請してください（複数の営業所等の申請はできません）。**契約を締結する営業所は、当該営業所において申請を希望する業種の営業を営むことを認められていることが必要です。**
- (4) 電子申請においては、2（1）に記載したポータルサイトの画面上の注意、操作手引書及び後述の【入札参加資格審査申請の注意点について】に従ってください。
- (5) 電子申請後は、速やかに後述「4別送書類」(1)で示す別送書類を提出してください。

3 受付期間

- (1) 定時受付
令和6年1月4日（木）から令和6年2月15日（木）まで
平日（日曜日、土曜日及び祝日を除く。）の午前8時から午後8時まで
※期間後半はシステムが混み合いますので、早めの申請にご協力ください。
- (2) 随時受付
令和6年4月1日（月）から令和8年1月30日（金）まで
平日（日曜日、土曜日、祝日及び12月29日から翌年の1月3日までの日を除く。）の午前8時から午後8時まで

4 別送書類

電子申請による入力内容のデータ送信後、「別送書類送付書」を電子調達システム（CALS/EC）から作成し、同書を表紙にして、下記（1）の提出書類を各1部、（2）の提出期日までに提出してください。郵送の場合は、申請入力内容のデータ送信後の到達確認画面から「別送書類送付票」を作成し、封筒に貼って送付してください。

別送書類（各種証明書等）は、申請日において発行日より3か月以内のものとし（写し可）。

- (1) 提出する書類等
 - ① 電子調達共同システム（CALS/EC）参加自治体の共通審査項目に関する書類
申請先自治体の中から、代表して入札参加資格申請要件を審査する自治体（以下「代表

審査自治体」という。)が申請画面で示されますので、その自治体が審査を行うこととなります。

書類名	摘 要	
登記事項証明書等	代表審査自治体が豊川市の場合	次の書類を豊川市へ提出してください。 (1)法人の方 履歴事項全部証明書 (2)個人の方 (ア・イの両方とも必要です) ア 代表者の身分証明書 (本籍地の市区町村長が発行する身分証明書。日本国籍を有しない方は在留カード又は特別永住者証明書の写し) イ 代表者の登記されていないことの証明書 (全国の法務局・地方法務局 (本局) の戸籍課窓口にて発行。また、東京法務局では郵送申請も可能。)
	代表審査自治体が豊川市以外の場合	豊川市に提出する書類はありません。 上記の書類を、申請画面で表示された代表審査自治体に送付してください。
納税証明書 (国税)	代表審査自治体が豊川市の場合	次の書類を豊川市へ提出してください。 (1)法人の方 納税証明書「その3の3」(法人税、消費税及び地方消費税) (2)個人の方 納税証明書「その3の2」(申告所得税及び復興特別所得税、消費税及び地方消費税) ※ 本店所在地を管轄する税務署 (窓口又はオンライン http://www.e-tax.nta.go.jp/tetsuzuki/shomei2.htm) で交付を受けることができます。
	代表審査自治体が豊川市以外の場合	豊川市に提出する書類はありません。 上記の書類を、申請画面で表示された代表審査自治体に送付してください。
納税証明書 (愛知県税)	代表審査自治体が愛知県の場合	豊川市に提出する書類はありません。 申請時に入力した課税番号で愛知県が納税状況を確認します。ただし、納税状況が確認できない場合は、愛知県県税事務所発行の納税証明書を求めることがあります。
	代表審査自治体が豊川市の場合	次のいずれかの書類を豊川市に提出してください。 【愛知県に納税義務がある方】 (1)法人の方 愛知県県税事務所が発行した納税証明書 (未納税額がないこと用) (法人県民税、法人事業税・特別法人事業税及び地方法人特別税並びに自動車税種別割) (2)個人の方 愛知県県税事務所が発行した納税証明書 (未納税額がないこと用) (個人事業税及び自動車税種別割) 【愛知県に納税義務がない方】 法人、個人とも「愛知県税の納税義務がないことの申出書」

	代表審査自治体 が上記以外 の場合	豊川市に提出する書類はありません。 上記の書類を、申請画面で表示された代表審査自治体に送付してください。
--	-------------------------	---

② 豊川市が独自に必要な書類

書類名	摘要
納税証明書 (豊川市税)	【豊川市に納税義務がある方】 法人、個人とも豊川市が指定する「滞納のない証明書」 ※豊川市役所財務部資産税課にて発行（各支所、プリオ窓口センターでは発行できません。）

※豊川市以外の申請先自治体が必要とする別送書類については、申請入力内容のデータ送信後の到達確認画面で確認できます。

(2) 提出期日

申請入力内容のデータ送信後の申請内容の修正は受け付けられませんので、送信の前に十分に内容をご確認ください。特に定時受付期間中は、定時受付（令和6・7年度）及び随時受付（令和4・5年度）の申請の取下げができませんので注意してください。

① 定時受付

申請入力内容のデータ送信日から7日以内必着。(データ送信日と同日の発送にご協力ください。)

ただし、最終提出期日は、令和6年2月22日（木）必着です。

② 随時受付

申請入力内容のデータ送信日から7日以内必着。(データ送信日と同日の発送にご協力ください。)

※上記①、②の提出期日の最終日が日曜日、土曜日、祝日及び12月29日から翌年の1月3日までの間に当たる場合はその日以後の最初の平日とします。

(3) 提出先 1 2 問合せ・提出先のとおり

5 資格審査

資格審査は、「1 申請者の要件」を満たしていることを確認します。

6 審査状況照会

電子調達システム（CALS/EC）にアクセスして審査の進捗状況を参照することができます。「入札参加資格申請（本人による申請）の照会/補正」→「申請状況照会/補正申請」から確認してください。（操作手引書6.1参照）

なお、別送書類及び申請内容に不備等がある場合には、豊川市から補正指示が出ている場合があります。データ送信後は、必ず審査の進捗状況を確認してください。（補正申請をしない場合、不受理となる場合があります。）

7 審査結果

電子調達システム（CALS/EC）にアクセスして審査結果を参照することができます。（書面による通知は行いませんが、審査完了のメールが送信されます。）

「入札参加資格申請（本人による申請）の照会/補正」→「格付結果照会」

【参考】ポータルサイトー〈操作手引書/チュートリアル〉ー「操作手引書」ー「入札参加資格申請」→「11.2 審査結果照会」

なお、定時受付の場合は、令和6年3月末までに審査完了のメールが送信される予定で、令和6年4月1日（月）から格付結果の参照が可能です。

8 資格の有効期限

電子申請による入札参加資格の有効期限は次のとおりとします。

(1) 定時受付

令和6年4月1日（金）から令和8年3月31日（火）まで有効とします。

(2) 随時受付

入札参加資格決定の日から令和8年3月31日（火）まで有効とします。

ただし、令和8年4月1日（水）以降、新たに入札参加資格者を決定するまでの間は、従前に入札参加資格は、その効力を有します。

9 会社更生手続開始決定・民事再生手続開始決定等に伴う入札参加資格の取扱いについて

地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の5第1項及び第167条の1第2項並びに地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成7年政令第372号）第4条の規定による特定調達契約の対象となる競争入札参加資格者として認められた方であって、会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく会社更生手続開始決定又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく民事再生手続開始決定を受けた方は、再度の入札参加資格申請をし、認定を受ける必要があります。

10 電子申請による入札参加資格決定後における登録内容の変更等について

登録内容に変更が生じた場合は、速やかに電子申請により変更の手続きを行ってください。ただし、定時受付した内容の変更手続きは、令和6年4月1日（月）から可能となります。

(1) 申請方法及び別送書類（各種証明書等）について

ア 登録内容の変更について

次表に基づき、電子調達システム（CALs/EC）にアクセスし、画面上の申請書フォームに必要事項を入力し、送信してください。

（ポータルサイト <https://www.chotatsu.e-aichi.jp/portal/index.jsp>）

※ 以下の項目については手続きにご注意ください。

〈次表変更事項⑧～⑩〉

12に記載する問合せ・提出先に事前連絡の上、変更等届に必要な事項を記載し、添付書類と併せて提出してください。その後、電子調達システム（CALs/EC）にアクセスし、画面上の申請書フォームに必要事項を入力し、送信してください（必要となる申請については、事前連絡時又は書類持参時に説明いたします。）。

変更事項	添付書類（別送書類）
① 商号又は名称（支店営業所を含む） 別途 IC カードの変更・登録が必要です。※1	なし
② 本店（建設業法上の主たる営業所） 代表者の職名又は氏名 別途 IC カードの変更・登録が必要です。	【法人の方】 履歴事項全部証明書 【個人の方】 （ア・イの両方とも必要です） ア 代表者の身分証明書（本籍地の市区町村長が発行する身分証明書。日本国籍を有しない方は在留カード又は特別永住者証明書の写し） イ 代表者の登記されていないことの証明書（全国の法務局・地方法務局（本局）の戸籍課窓口にて発行。また、東京法務局では郵送申請も可能。）
③ 契約を締結する営業所代表者の職名又は氏名 別途 IC カードの変更・登録が必要です。	なし
④ 所在地、郵便番号、電話番号、FAX 番号又は E メールアドレス（支店営業所を含む。）	
⑤ 登録（業種追加を含む。）に関する事項	
⑥ 資本金（法人のみ）	
⑦ 廃業（入札参加資格の全部取下げを含む。）又は一部取下げ	
⑧ 個人から法人への組織変更	（例） ・変更等届 ・登録を必要とする場合は、法人の登録を証する書面 ・登記事項証明書の写し
⑨ 合併、営業権譲渡等による事業の承継	（例） ・変更等届 ・登録を必要とする場合は、法人の登録を証する書面 ・登記事項証明書の写し ・合併・営業権譲渡等契約書の写し
⑩ 相続による事業の承継	（例） ・変更等届 ・相続関係を証する書面（戸籍謄本等） ・登録を必要とする場合は、相続人の登録を証する書面の写し

※1 ICカード登録情報に変更等が生じた場合は、あいち電子調達共同システム

(CAL S/EC) の利用規約「代表者が変更になった場合の利用者 I C カード登録手順」を参照し、速やかに手続きを行ってください。

【参考】ポータルサイトー〈利用規約〉ー「あいち電子調達共同システム (CAL S/EC) 利用規約」ー「代表者が変更になった場合の利用者 I C カード登録手順」

※ 2 変更事項⑧～⑩については、営業の同一性が認められる場合のみ、入札参加資格を継承することができます。また、内容確認のため上記以外の添付書類を提出していただく場合があります。

イ 登録業種の追加について

あいち電子調達システム (CAL S/EC) にアクセスし、画面上の申請書フォームに必要事項を入力し、送信してください。

(ポータルサイト <https://www.chotatsu.e-aichi.jp/portal/index.jsp>)

(2) 提出期日

入札参加資格申請データ送信日から 7 日以内必着。

※ 提出期日の最終日が日曜日、土曜日、祝日及び 1 2 月 2 9 日から翌年の 1 月 3 日までの間にあたる場合は、その日以後の最初の平日とします。

(3) 提出先 1 2 問合せ・提出先のとおり

1 1 その他

(1) 申請に際し、絶対に虚偽のないようにしてください。万が一、虚偽の申請をした場合は、指名停止措置や入札参加資格の取消しの対象となる場合があります。

(2) 申請後、確認のために申請内容を証明する書面の提示 (提出) を求めることがありますので、申請は必ず書面で証明できる内容により行ってください。

また、証明書面は、入札参加資格の有効期間中は保管しておいてください。

(3) 当該申請にもとづく入札参加資格者名簿は、電子調達システム (CAL S/EC) の入札情報サービス等で公表する予定ですので、あらかじめご了承ください。

(4) 入札に参加するためには発注案件に対応する業種の参加登録が必要となります。

また、以下の業務についてはあいち電子調達共同システム (物品等) からの発注となります。

① 計画策定業務のうち建設工事の実施を前提としないもの

② 調査業務のうち建設工事の実施を前提としないもの

上記の業務への参加を希望する場合には、設計・測量・建設コンサルタント等業務の参加申請とは別にあいち電子調達共同システム (物品等) から入札参加資格審査申請をする必要があります。

(5) この要領に定めるもののほか、入札参加資格の審査等に際し必要がある場合は、資料等の提出を求めることがあります。

1 2 問合せ・提出先

〒442-8601

豊川市諏訪 1 丁目 1 番地

豊川市役所 総務部契約検査課 契約係

TEL (0533) 89-2178 (直通)

F A X (0 5 3 3) 8 9 - 2 1 6 3

豊川市ホームページURL <https://www.city.toyokawa.lg.jp/>

(契約検査課URL <https://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/soshiki/kakubukakuka/somubu/keiyakukensaka.html>)

※システム（操作方法等）等に関する問合せ

あいち電子調達共同システム（CALS/EC）ヘルプデスク

T E L (0 1 2 0) 0 5 9 - 3 9 9

【入札参加資格審査申請の注意点について】

あいち電子調達共同システム（CALS/EC）

ポータルサイト <https://www.chotatsu.e-aichi.jp/portal/index.jsp>

入札参加資格申請の内容の入力を行う前に、各申請先自治体の申請項目、別送書類等をご確認ください。（上記ポータルサイトの「トップ」タブ→「団体別運用基準等」

各団体別運用基準等
ご利用の前に必ずご覧ください

利用者ICカード登録・
入札参加資格申請
電子入札

入札情報サービス
入札情報の照会・検索はこちら
※新しいウィンドウが開きます

電子調達共同システムの利用可能ブラウザは、Internet Explorerのみです。
Microsoft Edge等はご利用できません。

▼お知らせ

new 重要!	2021/10/29	2021年11月27日(土)9時から2021年11月28日(日)22時までシステムを停止します。
重要!	2021/03/23	令和3年4月から「説明文書毎閲覧」用のパスワードが変わります
重要!	2020/04/08	新型コロナウイルス感染症による電子証明書認証局の処理への影響について
	2020/08/24	あいち電子調達共同システム(CALS/EC)の偽メールにご注意ください
	2020/07/13	納税証明書(国税及び愛知県税)が提出できない場合の特例措置について
	2020/07/13	あいち電子調達共同システム(CALS/EC)の偽サイトにご注意ください
	2020/04/01	入札参加資格申請要領(コンサル等)の一部修正について
	2019/05/06	年度の表記について

入札参加資格申請の際は、操作手引書（上記ポータルサイトの「操作手引書／チュートリアル」タブ→「入札参加資格審査申請」→「5章 申請書作成・送信 6. 設計・測量・コンサルタント等新規申請」）に従ってください。

操作手引書/チュートリアル

操作手引書

入札参加資格申請

電子入札
入札参加資格申請
入札情報サービス

電子入札

クリックすると新しいウィンドウでPDFファイルが開きます。

表紙: 目次 2021/4/1更新!

1章 基本操作
1. 電子入札システム受注者クライアント画面の表示 2020/8/11更新!

2章 利用者登録
1. 業務の流れ 2011/3/23更新
2. 利用者登録メニューの表示 2017/10/1更新!
3. 利用者情報の新規登録 2017/10/1更新!

1 申請者情報入力

あいち電子調達共同システム（CALIS/EC）に掲載されている操作手引書及び画面上の指示に従って入力してください。

(1) 申請者情報

① 所在地

登記上の所在地と事実上の所在地が異なる場合は、事実上の所在を入力してください。

入力欄には、プルダウンメニューで選択した以降の住所のみ入力してください。名古屋市の場合は、区までプルダウンメニューで選択してください。

(例)

愛知県 ▼ 名古屋市 ▼ 中区 ▼ 三の丸3-1-2

② フリガナ

「カブシキガイシャ」や「(カブ)」などは入力せず、**社名のみ**のフリガナを入力してください。

③ 代表者職氏名

個人事業主の場合は、「代表者職氏名 （役職）」は空欄にしてください。

④ 連絡先

補正指示や審査終了等のメールは、連絡先に入力したEメールアドレスに送られますので、入力内容に誤りがないか注意してください。

(2) 申請先選択

入札参加資格申請を行う自治体に、チェックを入れてください。

なお、定時受付期間中は、入札参加資格申請の内容の送信後に、自治体を追加申請することができません。必ず入札参加資格申請を希望する自治体全てにチェックを入れて、入札参加資格申請の内容の送信を行ってください。

2 契約営業所入力

あいち電子調達共同システム（CALIS/EC）に掲載されている操作手引書及び画面上の指示に従って入力してください。

(1) 所在地

契約を締結する営業所の住所は、通常統一的に使用する住所を記入してください。

入力欄には、プルダウンメニューで選択した以降の住所のみ入力してください。名古屋市の場合は、区までプルダウンメニューで選択してください。

(例)

愛知県 ▼ 名古屋市 ▼ 中区 ▼ 三の丸3-1-2

(2) 契約を締結する営業所を本店（本社）以外とする場合の委任事項

委任期間は、令和6年4月1日から入札参加資格の有効期限（令和8年3月31日）までとします。

(3) 資格審査を希望する業種

資格審査を希望する業種を選択してください。

① 設計の申請を希望する業種は、「1 建築設計」「2 設備設計」とします。

② 測定の申請を希望する業種は、「3 一般測量」「4 航空写真測量」とします。

③ 建設コンサルタントの申請を希望する業種は、建設コンサルタント登録規程（昭和5

2年建設省告示第717号)第2条による登録部門のうち、「5 河川、砂防及び海岸・海洋」「6 港湾及び空港」「7 道路」「8 上下水道及び工業用水道」「9 下水道」「10 農業土木」「11 森林土木」「12 水産土木」「13 造園」「14 都市計画及び地方計画」「15 土質及び基礎」「16 鋼構造及びコンクリート」「17 建設環境」とします。

- ④ 「18 地質調査」とは、地質調査業者登録規程（昭和52年建設省告示第718号）による土質調査、岩盤調査、物理探査、試験・計測等をいいます。
- ⑤ 補償コンサルタントの申請を希望する業種は、補償コンサルタント登録規程（昭和59年建設省告示第1341号）第2条の登録部門のうち、「19 土地調査」「20 土地評価」「21 物件調査」「22 事業損失」とします。

業務	コード	業種	業務	コード	業種
設計	1	建築設計	建設コンサルタント	12	水産土木
	2	設備設計		13	造園
測量	3	一般測量		14	都市計画及び地方計画
	4	航空写真測量		15	土質及び基礎
建設コンサルタント	5	河川、砂防及び海岸・海洋		16	鋼構造及びコンクリート
	6	港湾及び空港		17	建設環境
	7	道路		地質調査	18
	8	上下水道及び工業用水道	補償コンサルタント	19	土地調査
	9	下水道		20	土地評価
	10	農業土木		21	物件調査
	11	森林土木		22	事業損失

(4) 登録等を受けている事業

入札参加資格申請時まで、次の①～⑤の登録を受けているものについて、登録番号（数字のみ）及び登録年月日を入力してください。（年度、登録官公庁名は入力しないでください。）

「（1級・2級）建築士事務所」は、「級」を選択してください。

「3. 建設コンサルタント」は、登録を受けている部門の登録番号（数字のみ）及び登録年月日を入力してください。

- ① 「1.（1級・2級）建築士事務所」
建築士法（昭和25年法律第202号）第23条による登録を受けている場合
- ② 「2. 測量業者」
測量法（昭和24年法律第188号）第55条による登録を受けている場合
- ③ 「3. 建設コンサルタント」
建設コンサルタント登録規程（昭和52年建設省告示第717号）第2条による登録を受けている場合
- ④ 「4. 地質調査」
地質調査業者登録規程（昭和52年建設省告示第718号）第2条による登録を受けている場合
- ⑤ 「5. 補償コンサルタント」

補償コンサルタント登録規程（昭和59年建設省告示第1341号）第2条による登録を受けている場合

⑥ 「6. 不動産鑑定業者」

不動産の鑑定評価に関する法律（昭和38年法律第152号）第22条による登録を受けている場合

⑦ 「7. 土地家屋調査士」

土地家屋調査士法（昭和25年法律第228号）第8条による登録を受けている場合（土地家屋調査士が2人以上所属しているときは、1人のみについて入力してください。）

⑧ 「8. 司法書士」

司法書士法（昭和25年法律第197号）第8条による登録を受けている場合

⑨ 「9. 計量証明事業者」

計量法（平成4年法律第51号）第107条による登録を受けている場合

3 共通情報入力

自己資本額、損益計算書、貸借対照表は、財務諸表等の写し（現況報告書及び決算報告書等）を参考に千円未満は切り捨てて入力してください。

(1) 年間実績高

① 資格審査を希望する業種のみ入力してください。資格審査を希望しない業種の実績は、「その他」欄に入力してください。

② 「直前2年度分決算」とは、直前1年度決算の前の決算を、「直前1年度分決算」とは、入札参加資格申請日直前に確定した決算を含む過去1年間の決算を、「直前2年間の平均実績高」とは、両決算の合計を2で除して得た額（千円未満四捨五入）を入力してください。

③ 営業年度（決算日）の変更等で1年に満たない決算がある場合は、次の例により不足月数分を直前3年度分の決算の売上から補充し算定してください。

（例）直前1年度の不足月数が3月の場合

$$\frac{(\text{直前3年度分決算} \times 3 / 12) + \text{直前2年度分決算} + \text{直前1年度分決算}}{2}$$

=直前2年間の年間平均実績高

④ 新規に営業を開始することにより、2年間に満たない場合は、次の計算式により算定してください。

各営業年度の実績高の合計額 / 2 = 直前2年間の年間平均実績高

⑤ 個人から法人へ組織変更した場合で、経営に同一性を保持していると認められる場合又は他の企業を吸収合併した場合は、前営業体又は吸収合併前の各企業の売上も通算してください。

※ 各売上・収入等実績は当該事業に係るもののみを入力し、建設業及び物品製造業等の実績は含めないでください。

また、各々の金額は、消費税及び地方消費税を含まない額（消費税抜き金額）を記入してください。

(2) 自己資本額

- ① 「株主資本」欄は、法人の方は払込済資本金に新株式申込証拠金、資本剰余金、利益剰余金、自己株式申込証拠金を加え、自己株式を減じた額を入力してください。(外資系企業の場合は、下段に外国資本の額を内数で入力してください。)

個人の方は、純資産合計（期首資本額＋事業主利益＋事業主借勘定－事業主貸勘定）の額を入力してください。

※青色申告の方は、純資産合計＝事業主借＋元入金＋青色申告特別控除前の所得金額－事業主貸となります。

※白色申告の方は、青色申告決算書の貸借対照表のフォームを利用するなどして作成した貸借対照表をもとに入力してください。

- ② 「評価・換算差額」欄は、その他有価証券評価差額金、繰越ヘッジ損益、土地再評価差額金がある場合は、その合計額を入力してください。
- ③ 「新株予約権」欄は、新株予約権があった場合は、その額を入力してください。
- ④ 「直前決算」及び「剰余（欠損）金処分」の各欄は、入札参加資格申請日直前の決算より入力し、「決算後の増減」欄は、当該直前決算日から入札参加資格申請日までの間において増減がある場合に入力してください。

(3) 損益計算書

「税引前当期純利益」欄は、直前1年度分決算により入力してください。

(4) 貸借対照表

「流動資産」、「流動負債」、「固定資産」及び「総資本額（資産合計）」の各欄は、「計算」を押下すると自動計算されます。

(5) 経営比率

「総資本純利益率」、「流動比率」及び「自己資本固定比率」の各欄は、「計算」を押下すると自動計算されます。

(6) 営業年数

「営業年数」欄は、入札参加を希望する業種に係る事業開始日（2以上の申請業種の場合は最も早い開始日）から入札参加資格申請日までの期間とし、当該業種で中断した期間を控除した期間（1年未満の端数は切り捨て）を入力してください。また、組織変更、家業相続等が行われ、かつ現企業と前企業（前営業体）との同一性を保持していると認められている場合は、前企業（営業体）の創業時をとることができます。

なお、吸収合併の場合は、存続会社の営業年数とし、新設合併の場合は、消滅会社の営業年数の算術平均により得た値によるものとしてください。

(7) 常勤職員数

入札参加資格申請日現在における常時雇用している従業員の数を入力してください。

「技術職員」及び「事務職員」の各欄は、入札参加資格申請日現在における常時雇用している従業員の内、専ら設計・測量・建設コンサルタント等業務に従事している職員の数を、「その他の職員」欄は、それ以外の職員（兼業部門等職員）及び常勤役員の数を入力してください。

なお、本項における「常時雇用」及び「常勤」とは、入札参加資格申請者に従事し、かつ客観的な判断事項（定期・定額の給与の支払対象者、社会保険料の納付対象者であること等）を有することを指します。

友好・協力関係にある別企業の職員は記載せず、あくまで自社の職員数のみ記載してく

ださい。

(8) 外国資本（50%以上）の有無

外国資本が50%以上の場合は、「有」を、それ以外の場合に、「無」を選択してください。

(9) 外資状況

外資系企業（日本国籍会社を含む。）のみ、「国名」に外国名を、「(比率○○%)」内に当該国の資本比率を入力してください。

なお、「(2)日本国籍会社（比率100%）」とは、100%外国資本の会社を、「(3)日本国籍会社（○○%）」とは、一部外国資本の会社をそれぞれ指します。

(10) 適格組合証明

官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律（昭和41年法律第97号）第2条第1項第4号に該当する組合は、中小企業庁（経済産業局及び沖縄総合事務局）が発行する官公需適格組合証明書の取得年月日及び番号を入力してください。

(11) 有資格者数

① 該当する資格は、別表「有資格者コード一覧」を参照し、入札参加資格申請日現在における該当者の人数を入力してください。

なお、1人で2以上の資格を有している場合は、重複して計上してください。

ただし、1級○○・2級○○（建築士は「木造」を含む。）○○士・○○士補等は、上位のもののみ。技術士は、同一部門内（総合技術監理部門において当該部門内の科目を選択科目とするものを含む。）でいずれか1つ。またRCCMは、希望する業種を考慮していずれか1つを選択してください。

② 「実人数」欄は、実際の資格取得者数を入力してください。合計は、次の「技術者名簿」の人数と一致します。

(12) 技術者名簿

入札参加資格申請日現在における「有資格者数」に該当する資格保有者の氏名とその資格名に付した番号を入力してください。

また、「合計」欄は、当該資格の延べ数を、「実人数」欄は、実際の資格取得者数を入力してください。これら2項目は、「有資格者数」と一致します。

なお、技術者名簿の人数が50人を超える場合は、システムでの入力できません。「技術者名簿が50人を超える場合にチェックしてください。」の□をチェックし、【別紙様式〇】にて技術者名簿を作成し、添付ファイルとして送信してください。（異なる様式で作成された技術者名簿は受理いたしません。）

技術者名簿は、名前順ではなく、「有資格者コード一覧」の番号順で記載してください。

（技術者名簿記載例）

（正）

（誤）

氏名	番号	氏名	番号
東海 一郎	2 1	東海 一郎	2 1
愛知 二郎	2 1	〃	7 0
名古屋 三郎	2 1	愛知 二郎	2 1
愛知 二郎	2 5	〃	2 5
東海 一郎	7 0	名古屋 三郎	2 1

※友好・協力関係にある別企業の職員は記載せず、あくまで自社の職員数のみ記載してください。

4 個別情報入力

(1) 希望業種実績

- ① 「直前2年間の平均実績高」は、あいち電子調達共同システム（CAL/EC）入力画面「4 共通情報入力」の「3 年間実績高」の「ウ 直前2か年間の年間平均実績高」と同じ金額を入力してください。
- ② 「官庁最高金額」欄は、直前2年間で官公庁と契約したもののうち最高金額のものをしてください。
- ③ 「官庁次位金額」欄は、直前2年間で官公庁と契約したもののうち2番目の金額のものをしてください。

(2) 株主（出資者）調書

豊川市への申請においては入力不要です。

(3) 代表取締役又は個人事業主の略歴書

豊川市への申請においては入力不要です。

(4) 国税、愛知県税及び豊川市税等の未納がないことの確認

要領1(1)③及び1(2)①において指定する、国税、愛知県税及び豊川市税等について、未納がない場合は「はい」を選択し、そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

なお、愛知県及び豊川市に納税等義務のない方は、「はい」を選択してください。

(5) 納税状況の確認についての同意

要領1(2)①において指定する豊川市税等について、豊川市が申請者の納税状況を確認することについて同意する場合、もしくは豊川市に納税等義務のない方は、「はい」を選択してください。課税番号は入力不要です。

(6) 申請先自治体との指名・契約実績

申請する業種について、申請日から遡って2年以内に、豊川市から指名通知を受けた実績及び契約実績がある場合は、「有」を、そうでない場合は、「無」を選択してください。

別表 有資格者コード一覧

技術士		技術士補	
<建設部門>又は<総合技術監理部門の選択科目>		23	<建設部門>
1	土質及び基礎	24	<上下水道部門>
2	土質及び基礎以外の有資格者	25	<農業部門>
<上下水道部門>又は<総合技術監理部門の選択科目>		26	<森林部門>
3	上水道及び工業用水道	27	<水産部門>
4	下水道	28	<機械部門>
<農業部門>又は<総合技術監理部門の選択科目>		29	<電気電子部門>
5	農業農村工学（旧：農業土木を含む）	30	<衛生工学部門>
6	農村地域・資源計画（旧：農村環境を含む）	31	<情報工学部門>
<森林部門>又は<総合技術監理部門の選択科目>		32	<応用理学部門>
7	森林土木	33	<環境部門>
8	林業・林産（旧：林業を含む）	RCCM	
<水産部門>又は<総合技術監理部門の選択科目>		34	河川、砂防及び海岸・海洋
9	水産土木	35	港湾及び空港
10	水産資源及び水域環境（旧：水産水域環境を含む）	36	道路
<機械部門>又は<総合技術監理部門の選択科目>		37	上水道及び工業用水道
11	流体機器（旧：流体工学を含む）	38	下水道
12	機構ダイナミクス・制御（旧：交通・物流機械及び建設機械を含む）	39	農業土木
13	加工・生産システム・産業機械（旧：加工・ファクトリーオートメーション及び産業機械を含む）	40	森林土木
14	（欠番）	41	水産土木
15	上記以外の機械部門の有資格者	42	造園
<電気電子部門>又は<総合技術監理部門の選択科目>		43	都市計画及び地方計画
16	電気電子部門の有資格者	44	土質及び基礎
<衛生工学部門>又は<総合技術監理部門の選択科目>		45	鋼構造及びコンクリート
17	水質管理	46	建設環境
18	廃棄物・資源循環（旧：廃棄物管理を含む）	47	上記以外の RCCM の有資格者
19	（欠番）		
<情報工学部門>又は<総合技術監理部門の選択科目>			
20	情報工学部門の有資格者		
<応用理学部門>又は<総合技術監理部門の選択科目>			
21	地質		
<環境部門>又は<総合技術監理部門の選択科目>			
22	環境部門の有資格者		
その他			
48	1級建築士	75	第2種電気主任技術者
49	2級建築士	76	第3種電気主任技術者
50	測量士	77	環境計量士
51	測量士補	78	エネルギー管理士

52	1級土木施工管理技士	79	公害防止管理者水質関係第1種
53	2級土木施工管理技士（土木）		公害防止管理者水質関係第2種
54	2級土木施工管理技士（鋼構造物塗装）	80	伝送交換主任技術者
55	2級土木施工管理技士（薬液注入）	81	線路主任技術者
56	1級管工事施工管理技士	82	土地区画整理士
57	2級管工事施工管理技士	83	畑地かんがい技士
58	1級建設機械施工管理技士	84	農業集落排水計画設計士
59	2級建設機械施工管理技士	85	農業土木技術管理士
60	1級造園施工管理技士	86	地質調査技士
61	2級造園施工管理技士	87	土地家屋調査士
62	下水道技術検定1種	88	司法書士
63	下水道技術検定2種	89	不動産鑑定士
64	下水道技術検定3種	90	不動産鑑定士補
65	（欠番）	91	公認会計士
66	推進工事技士	92	公認会計士補
67	小規模ダム工事総括管理技術者	93	税理士
68	ダム工事総括管理技術者	94	補償業務管理士
69	地すべり防止工事士	95	木造建築士
70	基礎施工士	96	中小企業診断士
71	コンクリート主任技士	97	建築設備士
72	コンクリート技士	98	構造設計一級建築士
73	土木用コンクリートブロック技士	99	設備設計一級建築士
74	第1種電気主任技術者	100	建築積算士（建設積算資格者）

1人で重複できない資格は、次の番号の組合せ

1と2	3と4	5と6	7と8	9と10
11～15	17と18	34～47	48と49と95	50と51
52～55	56と57	58と59	60と61	62～64
71と72	74～76	79①と②	89と90	91と92
49と95と98	49と95と99			

また、技術士の資格について、次の表の左欄に掲げる資格を有するものは、右欄に掲げる資格を有するものとみなします。

機械部門（流体機械）	機械部門（流体工学）
機械部門（建設、鉱山、荷役及び運搬機械）	機械部門（交通・物流機械及び建設機械）
機械部門（機械設備）	機械部門（加工・ファクトリーオートメーション及び産業機械）
衛生工学部門（廃棄物処理）	衛生工学部門（廃棄物管理）
衛生工学部門（廃棄物管理計画）	